

「学問への扉」リーディングリストについての説明

このリーディングリストは、全学共通科目の「学問への扉」を受講する学生のために、香川大学の教員が「大学生としての学びをスタートするにあたって手に取ってほしい本」をリストにしたものです。紹介してくれた先生に面白さのポイントなどを説明する紹介コメントもつけてもらいました。ここで紹介されている中央図書館のブックウォール（入口ゲートを直進、突き当りを左に曲がったところにある本棚）に配架されていますので、気になったものがあったら手に取ってみてください。以下、リーディングリストの見方等について、説明をします。

1. 紹介書籍のグループ分け

香川大学では、全学共通教育の運営のために26の領域が設定されています。リーディングリストを作成するにあたり、学問分野（紹介教員）を以下のように大きく5つのグループに分けています。

グループA：哲学・倫理学、芸術、文学、言語学、英語、初修外国語、日本語、歴史学、地理学

グループB：心理学、社会学、教育学

グループC：法学、政治学、経済学、経営学

グループD：数学、地球科学、物理学、化学、生物学、統計学、情報科学

グループE：医学、看護学、健康・スポーツ

このリーディングリストでは、上記のグループごとに紹介書籍をまとめています。同じ書籍が異なる教員によって推薦された場合は、別々に掲載し、他でも推薦されていることを明記しています。

2. リーディングリストの見方

以下は、リストの見本です。掲載されているそれぞれの情報について解説します。

(1) 書籍のタイプ：a. 大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）、b. 特定の学問分野に関わるもの（たとえば「歴史学」の学びを深めるための本）、c. 「学問への扉」に属する特定の科目の参考文献、という3つのタイプに分けられます。bの場合は、(3)をみると、該当する学問分野がわかります。なお、タイプcについては、現在開講されていない科目の参考文献も含まれています。

(2) 書誌情報：著者、書名、出版社、出版年が表示されています。

(3) 関連する学問分野：関連する学問分野が優先度の高いものから書かれています。

(4) キーワード：関連するテーマなどが挙げられています。

(1) 書籍のタイプ：a. 大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）

(2) 書誌情報：戸田山和久（2022）『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』 NHKブックス

(3) 関連する学問領域：文化・教養学

(4) キーワード：論文の書き方、論証

(5) 難易度： 

(6) レポートや卒論向け、問いをどのように設定し文章を作成していくのかを、会話文で伝えています。

(7) 推薦グループ/推薦者：グループA/浅井哲司

★この書籍は、グループB/岡田涼先生も紹介しています。

(5) 難易度：唐辛子マークが多いほど難しい本です（3本が最高）。

(6) コメント：オススメのポイントを中心にした本の紹介です。

(7) 推薦グループ/推薦者：推薦した科目領域のグループと教員が示されています。匿名希望の場合はそのように書かれています。

グループ A (哲学・倫理学系/芸術系/文学系/言語学系/英語系/初修外国語系/日本語系/歴史学系/地理学系) 学問への扉 リーディングリスト

*各項目に含まれる内容

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門(特定の分野に限定されていないもの)、b.特定の学問分野に関わるもの、c.「学問への扉」の特定の科目を受けるうえで参考文献、という3つのタイプがあります。
- (2) 基本的な書誌情報(著者、出版年、書名、出版社) 著者名(出版年)『書名』出版社、という順番で書いています。
- (3) その本が関連する学問領域：複数ある場合は、関連度が高いものから書いています。
- (4) キーワード(5つまで) その本が関連するテーマなどを示すキーワードを書いています。
- (5) 本の難易度 1~3 まで：数が多いほど難易度が高いです。難易度は推薦者の判断によって決めています。
- (6) 教員による本の紹介、おススメの箇所についてのコメント：100字程度で、概要やおススメのポイントについて書いています。
- (7) 推薦したグループ/所属/推薦者：所属する科目領域グループ(A~E)と所属と推薦者の氏名を書いています。

推薦図書が2冊以上ある場合、より学生に読んで欲しいものから順に記載しています。

- (1) 書籍のタイプ： b.特定の学問分野に関わるもの
- (2) 書誌情報：竹中克行編(2015)『人文地理学への招待』ミネルヴァ書房
- (3) 関連する学問領域：地理学
- (4) キーワード：地域、都市、農村、景観、食、工業、観光、歴史地理、公共政策、環境問題
- (5) 難易度： 
- (6) 人文地理学は、人間社会の地域性や地域構造の解明を主たる目的としてきた。本書は、人文地理学の重要な概念と人文地理学が扱ってきた主要なトピックに関して、最近の研究成果を織り込みながら解説したものである。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/教育学部/平篤志

- (1) 書籍のタイプ： b.特定の学問分野に関わるもの
- (2) 書誌情報：竹中克行編(2022)『人文地理学のパースペクティブ』ミネルヴァ書房
- (3) 関連する学問領域：地理学
- (4) キーワード：都市、農村、グローバル化、キャリア、立地戦略、都市再生、防災、地図、景観復元
- (5) 難易度： 
- (6) 本書は、『人文地理学への招待』をベースに、最新の研究テーマを織り込んで新たに編集されたものである。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/教育学部/平篤志

- (1) 書籍のタイプ： b.特定の学問分野に関わるもの
- (2) 書誌情報：松山洋他編(2014)『自然地理学』ミネルヴァ書房
- (3) 関連する学問領域：地理学
- (4) キーワード：地形、寄稿、水門、環境地理学、土壌、地理情報
- (5) 難易度： 
- (6) 自然地理学は、自然環境の地域性や地域構造の解明を主たる目的としてきた。本書は、地形、気候、水文など自然地理学が扱ってきた概念やトピックに関して具体例を交えながら解説した入門書である。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/教育学部/平篤志

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
 - (2) 書誌情報：戸田山和久（2022）『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』 NHKブックス
 - (3) 関連する学問領域：文化・教養学
 - (4) キーワード：論文の書き方、論証
 - (5) 難易度： 
 - (6) レポートや卒論に向け、問いをどのように設定し文章を作成していくのかを、会話文で伝えています。
 - (7) 推薦グループ/推薦者：グループ A/浅井哲司
- ★この書籍は、グループ B/岡田涼先生も紹介しています。

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：三島由紀夫（2006）『対談集 源泉の感情』河出書房新社
- (3) 関連する学問領域：文学
- (4) キーワード：対話、文学、二十世紀
- (5) 難易度： 
- (6) 三島由紀夫が作家、俳優、歌舞伎役者らと行った対談本。特に、後半に伝統芸能に関わる数々の名人たちとの対談が「日本の芸術」としてまとめられた。三島は「伝統」とは、大衆化とは無縁の、その「頂上」から「頂上」への「行為者の伝統」に過ぎないと言う。注目すべき観点だと思う。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/教育学部/渡邊史郎

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：秋田道夫（2023）まわりに左右されないシンプルな考え方（ダイヤモンド社）
- (3) 関連する学問領域：芸術
- (4) キーワード：デザイン、暮らし、考え方
- (5) 難易度： 
- (6) 秋田氏の「シンプルで本質をとらえた言葉」に触れることで日々抱えている悩みや焦り、気負いが消えていき、心がフッと軽くなると感じている人が、数多くいるのです。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/創造工学部/南政宏

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：原研哉（2003）デザインのデザイン（岩波書店）
- (3) 関連する学問領域：芸術
- (4) キーワード：デザイン、暮らし、考え方
- (5) 難易度： 
- (6) 原氏のデザインの囁きに、ちょっと立ち止まって耳を傾けよう。そこには柔らかな感受性から生まれた生活への新しい提言と、未来への可能性が示唆されています。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/創造工学部/南政宏

- (1) 書籍のタイプ：c. 「学問への扉」に属する特定の科目の参考文献
- (2) 書誌情報：藤田正勝（2021）『はじめての哲学』（岩波ジュニア文庫）
- (3) 関連する学問領域：哲学・倫理学
- (4) キーワード：自己、生と死、真理、実在、言葉
- (5) 難易度： 
- (6) 「身の回りにある不思議に驚き、そうした問題を先入見にとらわれず、根本のところからとらえ直して、その向こうにある真理を探究していこうとすること」、これが本書での哲学の定義です。そうです、哲学は身近なところから始まるんです！予備知識なしで考えることの面白さを十分に味わえる一冊です。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/大学教育基盤センター/佐藤慶太

- (1) 書籍のタイプ：a. 大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：山口尚（2022）『難しい本を読むためには』（ちくまプリマー新書）
- (3) 関連する学問領域：哲学・倫理学
- (4) キーワード：キーセンテンス、読解の方法、前提と結論
- (5) 難易度： 
- (6) 哲学の本をよんでみたけど、難しくて読み続けられなかった…、こんな経験ありませんか？本書は哲学の本を読み解くための具体的な方法をわかりやすく教えてくれます。読解の具体例として、手に取りやすい哲学の本が使われているので、そこからさらに読書の幅を広げてみてください。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/大学教育基盤センター/佐藤慶太

- (1) 書籍のタイプ：b 特定の学問分野に関わるもの
- (2) 書誌情報：三舟隆之・馬場基編『古代の食を再現する』（吉川弘文館、2021年）
- (3) 関連する学問領域：歴史学、農学
- (4) キーワード：文理融合・日本食・復元・稲作・古代
- (5) 難易度： 
- (6) 『延喜式』等の文献資料をもとに、実験を通じて古代の日本食を復元する意欲的な研究成果をまとめた論文集である。新しい研究分野のため、論文集とはいえ比較的平易でわかりやすい。実験のあり方そのものが興味を惹く一方、古代食の復元によって当時の生活習慣病等も想定され、日本人の生活スタイルを見直すことができる示唆的な書物である。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/教育学部/守田逸人

- (1) 書籍のタイプ：b 特定の学問分野に関わるもの
- (2) 書誌情報：『日本「文」学史 第二冊』（勉誠出版、2017年）
- (3) 関連する学問領域：歴史学
- (4) キーワード：古代・中世・文字文化・文章の歴史
- (5) 難易度： 
- (6) 「文学」成立以前の前近代における「文」あるいは「文章」の歴史、あるいはそれらをたしなむ人々の社会について、様々な局面におけるその具体的な機能・役割と流通のあり方について論じた論文集。日本列島で文字文化がどのように深化・展開していったのか、見直すことができる示唆的な書物である。難易度はやや高い。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/教育学部/守田逸人

- (1) 【新】書籍のタイプ：c. 「学問への扉」に属する特定の科目の参考文献（越境する学問）
- (2) 書誌情報：池田喬（2021年）『ハイデガー『存在と時間』を解き明かす』（NHK出版）
- (3) 関連する学問領域：哲学・倫理学
- (4) キーワード：存在、時間、個性、死、エビデンス／証拠
- (5) 難易度： 
- (6) ハイデガー『存在と時間』の案内書であるが、私たちが日常的に感じる哲学的問題を考えるきっかけが多く含まれていてとても面白い。特に「死の確実性」について考察する第八章は、「エビデンス／証拠」についての重要な問題提起を含んでいる。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/大学教育基盤センター/佐藤慶太

- (1) 【新】書籍のタイプ：c. 「学問への扉」に属する特定の科目の参考文献（越境する学問）
- (2) 書誌情報：村上靖彦（2023年）『客観性の落とし穴』（ちくまプリマー新書）
- (3) 関連する学問領域：哲学・倫理学
- (4) キーワード：エビデンス／証拠、客観性、数値化、質的調査、ケア、現象学
- (5) 難易度： 
- (6) 客観的な証拠は大事だが、それだけがすべてなのか？数値化重視のかげで私たちは大事なものを見落としているか？客観性と数値への過度な信仰が、わたしたちを苦しめる原因にもなっていないかということ本書では丁寧に解き明かしている。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ A/教育学部/三宅岳史

グループB（心理学系/社会学系/教育学系） 学問への扉 リーディングリスト

*各項目に含まれる内容

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）、b.特定の学問分野に関わるもの、c.「学問への扉」の特定の科目を受けるうえで参考文献、という3つのタイプがあります。
- (2) 基本的な書誌情報（著者、出版年、書名、出版社）著者名（出版年）『書名』出版社、という順番で書いています。
- (3) その本が関連する学問領域：複数ある場合は、関連度が高いものから書いています。
- (4) キーワード（5つまで）その本が関連するテーマなどを示すキーワードを書いています。
- (5) 本の難易度 1～3まで：数が大きいほど難易度が高いです。難易度は推薦者の判断によって決めています。
- (6) 教員による本の紹介、おすすめの箇所についてのコメント：100字程度で、概要やおすすめのポイントについて書いています。
- (7) 推薦したグループ/所属/推薦者：所属する科目領域グループ（A～E）と所属と推薦者の氏名を書いています。

推薦図書が2冊以上ある場合、より学生に読んで欲しいものから順に記載しています。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 書籍のタイプ：「研究のみかた」教育の“これまで”と“これから”(2) 書誌情報：戸田山和久、2022年、『最新版 論文の教室: レポートから卒論まで』、NHK 出版、978-4140912720(3) 関連する学問領域：学問全般(4) キーワード：論文、研究、アウトライン(5) 難易度： (6) 大学において必須の知識である論文の書き方や考え方について解説されています。問いの立て方やアウトラインの考え方など、研究を進めるうえでの考え方の基礎になることが学べます。(7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループB/教育学部/岡田 涼
★この書籍は、グループA/浅井哲司先生も紹介しています。 |
|---|

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 書籍のタイプ：「研究のみかた」教育の“これまで”と“これから”(2) 書誌情報：山田剛史・林創、2011年、『大学生のためのリサーチリテラシー入門:研究のための8つの力』、ミネルヴァ書房、978-4623060450(3) 関連する学問領域：学問全般(4) キーワード：リサーチリテラシー、課題発見、情報収集(5) 難易度： (6) 大学で行う研究に必要な8つの力（リテラシー）が紹介されています。課題発見力や情報収集力は演習を行う入門的な授業にも生きてくると思います。(7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループB/教育学部/岡田 涼 |
|---|

- (1) 書籍のタイプ：b.特定の学問分野に関わるもの
- (2) 書誌情報：中村高康／松岡亮二編著（2021）『現場で使える教育社会学』ミネルヴァ書房
- (3) 関連する学問領域：教育学
- (4) キーワード：教育、社会学、格差、不登校、非行
- (5) 難易度：🌶️🌶️
- (6) 教育に関する様々な問題について、社会学の視点から書かれています。自分の経験と結び付けて、教育に関する問いを見つけるためのヒントを得ることができます。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループB/教育学部/岡田 涼

- (1) 【新】書籍のタイプ：a.大学での学び入門
- (2) 書誌情報：石黒 圭（2024）『この1冊できちんと書ける！【新版】論文・レポートの基本』日本実業出版社、ISBN9784534060808
- (3) 関連する学問領域：学問全般
- (4) キーワード：論文、研究、生成 AI
- (5) 難易度：🌶️
- (6) 本書は、大学での研究に必要な問いの立て方、文献調査、論文執筆の基本を解説しています。生成 AI など新たな技術との向き合い方にも触れ、研究を進める上での重要な視点が学べる一冊です。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループB/医学部/太田 美里

グループC（法学系/政治学系/経済学系/経営学系）学問への扉 リーディングリスト

*各項目に含まれる内容

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）、b.特定の学問分野に関わるもの、c.「学問への扉」の特定の科目を受けるうえで参考文献、という3つのタイプがあります。
- (2) 基本的な書誌情報（著者、出版年、書名、出版社）著者名（出版年）『書名』出版社、という順番で書いています。
- (3) その本が関連する学問領域：複数ある場合は、関連度が高いものから書いています。
- (4) キーワード（5つまで）その本が関連するテーマなどを示すキーワードを書いています。
- (5) 本の難易度 1～3まで：数が大きいほど難易度が高いです。難易度は推薦者の判断によって決めています。
- (6) 教員による本の紹介、おすすめの箇所についてのコメント：100字程度で、概要やおすすめのポイントについて書いています。
- (7) 推薦したグループ/所属/推薦者：所属する科目領域グループ（A～E）と所属と推薦者の氏名を書いています。

推薦図書が2冊以上ある場合、より学生に読んで欲しいものから順に記載しています。

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：岡田行雄(編著)(2023)『非行少年の被害に向き合おう！：被害者としての非行少年』現代人文社
- (3) 関連する学問領域：法学
- (4) キーワード：少年事件、手続、非行少年、被害者支援
- (5) 難易度： 
- (6) 非行少年に関わってきた専門家が、非行少年に積み重ねられる被害にスポットライトを当て、救済と支援のための実践および法的必要性を提言する。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/法学部/青木 丈

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：岩本誠吾,戸田五郎(2022)『はてなの国際法』晃洋書房
- (3) 関連する学問領域：法学
- (4) キーワード：国際法、国家、国籍、国連、平和
- (5) 難易度： 
- (6) 国際法ってなに？ それって私たちに関係あるの？日常生活の中の「はてな？」から出発する15のトピックをわかりやすく解説。国際社会に関心を向け、世界の中の日本を考える。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/法学部/青木 丈

- (1) 書籍のタイプ：a. 大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：井田良一太田達也 編著（2014）『いま死刑制度を考える』（慶應義塾大学出版会）
- (3) 関連する学問領域：法学、特に刑事法
- (4) キーワード：死刑、刑罰、刑法、裁判員、応報
- (5) 難易度： 
- (6) 法学部の入門系講義・ゼミにおける「鉄板」ネタの一つである、死刑問題を扱う入門書。第一線の法律家たちが、死刑制度の存廃と今後のあり方をめぐって、様々な観点から冷静な議論を積み重ねる。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/法学部/天田 悠

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：井上達夫(2022)『ウクライナ戦争と向き合う ― プーチンという「悪夢」の実相と教訓（法と哲学新書）』信山社出版
- (3) 関連する学問領域：法学、政治学
- (4) キーワード：ウクライナ戦争、ロシア、プーチン、国際社会
- (5) 難易度： 
- (6) ロシアによるウクライナ侵略がなぜ始まり、どのように終わるのだろうか。また、この戦争から日本は何を学ぶべきか、について法哲学者が論じる。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/法学部/青木 丈

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：岸見太一,高谷幸,稲葉奈々子(2023)『入管を問う：現代日本における移民の収容と抵抗』人文書院
- (3) 関連する学問領域：法学、政治学
- (4) キーワード：出入国在留管理庁、収容施設、移民、入管行政
- (5) 難易度： 
- (6) 「不法滞在者」はいかなる暴力を受けても仕方がないのだろうか。なぜ、収容者の命がけの訴えは信用されないのか。そもそも入管法違反とは悪なのか。多角的な観点から入管政策を問い直し、その特質と構造を明らかにする。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/法学部/青木 丈

- (1) 書籍のタイプ：a. 大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：山本圭（2021）『現代民主主義：指導者論から熟議、ポピュリズムまで』中公新書
- (3) 関連する学問領域：政治学
- (4) キーワード：民主主義、指導者、多元主義、参加、熟議
- (5) 難易度： 
- (6) 今までの民主主義の理論について概観することができるとともに、現民主主義において問われるのは何かについて考えられる。民主主義のかたちは唯一のものでないし、民主主義の危機は民主主義によって克服される。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/法学部/金宗郁

- (1) 書籍のタイプ：a. 大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：稲増一憲（2022）『マスメディアとは何か：「影響力」の正体』中公新書
- (3) 関連する学問領域：政治学、社会学
- (4) キーワード：マスメディア、世論、メディア効果論、メディア環境論、インターネット
- (5) 難易度：🌶️🌶️
- (6) インターネットを含めたマスメディアは、世論を左右するような力を本当に持っているのだろうか。もし持っているのだとすれば、それはどのように生じているのだろうか。本書では、マスメディアの効果に関する科学的な研究の系譜を踏まえながら、SNS 時代におけるメディアのあり方について考察が行われている。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ C/法学部/堤英敬

- (1) 書籍のタイプ：a. 大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：宇野重規（2023）『日本の保守とリベラル-思考の座標軸を立て直す（中公選書 131）』中央公論新社
- (3) 関連する学問領域：政治学
- (4) キーワード：保守主義、リベラリズム、福沢諭吉、丸山眞男
- (5) 難易度：🌶️🌶️
- (6) 欧米の政治思想史を参照しつつ、近現代の日本に保守とリベラル、それぞれの系譜を辿り、読み解く試みである。福沢諭吉、伊藤博文以来の知的営為を未来につなげ、真の「自由」を考える。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ C/法学部/青木 丈

- (1) 書籍のタイプ：a. 大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：細谷雄一（編）（2023）『ウクライナ戦争とヨーロッパ』東京大学出版会
- (3) 関連する学問領域：政治学
- (4) キーワード：ウクライナ侵攻、NATO、EU、難民保護
- (5) 難易度：🌶️🌶️
- (6) ロシアによるウクライナ侵攻にもっとも影響を受けたヨーロッパはどのように戦争に対処してきたのか。各国・各地域の研究を牽引する気鋭の研究者が、これまでを振り返り現況を再確認するとともに今後のゆくえについても言及する。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループ C/法学部/青木 丈

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：山田昌弘（2020年）『日本の少子化対策はなぜ失敗したのか？結婚・出産が回避される本当の原因』、光文社新書
- (3) 関連する学問領域：経済学、人口学、社会学
- (4) キーワード：少子高齢化、結婚、女性労働
- (5) 難易度： 
- (6) 日本で「少子化対策」が始まってから、すでに30年以上が経過しました。色々な政策を行ってもなかなか改善しない理由は、どこにあるのでしょうか？皆さんの将来にもかかわる身近な問題を多角的視点から考えてみましょう。（なお、この本に書かれていることは、あくまで著者の視点で書かれており、すべてが真実とは限りません。大学生として批判的視点で読書を楽しんでください。）
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/経済学部/持田めぐみ

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：佐々木常夫（2010年）『働く君に贈る25の言葉』、WAVE出版
- (3) 関連する学問領域：経済学、経営学
- (4) キーワード：ワークライフバランス、人的資本、人生論
- (5) 難易度： 
- (6) 大学生の皆さんにとって、自分が社会人として働く姿を想像することは、とても難しいことでしょう。しかし、卒業した後、社会に出てどのように働き、どのように生きていくべきか、自分の将来をじっくりと考えるには、この大学時代が最大のチャンスかもしれません。誰のものでもない自分自身の人生をしっかりと歩いて行けるよう、少し先の生活を想像しながら考えてみる助けになる本だと思います。また経済学の視点からも、生産活動を担う労働者をミクロな視点で捉えて考察することの助けとなります。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/経済学部/持田めぐみ

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：市村英彦ら編（2020年）『経済学を味わう—東大1、2年生に大人気の授業—』日本評論社
- (3) 関連する学問領域：経済学
- (4) キーワード：経済学
- (5) 難易度： 
- (6) 「経済学って何？」という素朴な疑問に対して、東京大学経済学部の教員たちが、自身の専門分野で考えている「問」とそれへの「答」を明快に説明しています。一部の難しい数式にひるまず読んでみると社会を見る目が変わります。高校までの「経済」とは一味違う「経済学」を味わってみましょう。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/経済学部/福村晃一

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：山本和博（2022年）『大都市はどうやってできるのか』筑摩書房
- (3) 関連する学問領域：経済学
- (4) キーワード：都市経済学、地域経済学
- (5) 難易度： 
- (6) 過疎化などの地方の問題を考えるうえで、過疎化していない「都市」を注意深く考えることで、都市と地方の違いが際立ち、問題解決の糸口がみつきやすくなります。難しい式は出てこず、数学が苦手な人でもサクサクと読めるので、社会の問題とその解決策に関心のある人は読んでみてください。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/経済学部/福村晃一

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：伊藤公一朗（2017年）『データ分析の力 因果関係に迫る思考法』、光文社
- (3) 関連する学問領域：経済学、統計学
- (4) キーワード：因果関係、データ分析
- (5) 難易度： 
- (6) 様々な実例を用いながら、因果関係を把握することがなぜ大切なのかが丁寧に説明されている。また、因果推論の各手法も紹介されているので、卒業論文などに是非活用してほしい。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/経済学部/山ノ内健太

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：山口慎太郎（2019年）『「家族の幸せ」の経済学 データ分析でわかった結婚、出産、子育ての真実』、光文社
- (3) 関連する学問領域：経済学
- (4) キーワード：結婚、出産、育児
- (5) 難易度： 
- (6) 出産や育児など、家族の幸せに関わる問題を経済学の視点から扱っている。特にデータ分析の結果を重視し、エビデンスに基づく主張を展開している点が特徴的である。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/経済学部/山ノ内健太

- (1) 【新】書籍のタイプ： a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報： ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド（2019年）『FACTFULNESS（ファクトフルネス）：10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』（日経BP社、9784822289607）
- (3) 関連する学問領域：社会学、歴史学、政治学、経済学、医学
- (4) キーワード： 事実、知識、直感
- (5) 難易度： 
- (6) 世界では紛争が絶えず、貧困に喘ぐ人々が数多くいる。政治は混沌とし、経済は低迷、これから先どうなってしまうのだろう…。と、悲観的な言説が目立つけど、本当？事実（ファクト）をみてみよう。世の中、思ったより悪くない。昔はもっとよかった？そんなことはない。昔に比べれば遙かに良くなったことがたくさんある。思い込みをやめ、事実に基づく世界の見方をする習慣のことを著者はファクトフルネスと呼ぶ。誤った認識の下では、まともに社会を論ずることはできない。まずはここから始めよう。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/経済学部/松井潤

- (1) 【新】書籍のタイプ： a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報： 坂井豊貴（2015年）『多数決を疑う：社会的選択理論とは何か』（岩波新書、9784004315414）
- (3) 関連する学問領域：経済学、哲学・倫理学・論理学、法学、政治学
- (4) キーワード： 民主主義、社会制度、意見集約、投票、公共財
- (5) 難易度： 
- (6) 選挙後の政治家曰く、「民意が示された。」本当？そもそも、民意とは何だろう。小学校くらいから当たり前のように使ってる多数決。だが、それがみんなの意見を正しく反映したものなのだろうか。本書では、さまざまな意見集約ルールのなかで望ましいものは何かを検討し、哲学的な背景としてルソーの社会契約論から、アローの不可能性定理とよばれる有名な命題、公共財の供給問題まで、「多数決」を問い直すことで生じる多数の議論が展開される。教科書や大学入試問題などに利用され、中国語や韓国語にも翻訳されている名著。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/経済学部/松井潤

- (1) 【新】書籍のタイプ： a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報： 飯田高・近藤絢子・砂原庸介・丸山里美編（2023）『世の中を知る、考える、変えていく——高校生からの社会科学講義』（有斐閣、9784641126459）
- (3) 関連する学問領域：経済学、政治学、法学、社会学
- (4) キーワード： 社会科学、分野比較、環境、貧困、テクノロジー、ジェンダー
- (5) 難易度： 
- (6) 経済学、政治学、法学、社会学という社会科学の4つの学問分野を取り上げて、環境、貧困、テクノロジー、ジェンダーという4つのテーマを軸に、それぞれの学問の特色、着眼点、アプローチの仕方、問題意識を解説しています。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/経済学部/星野良明

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：湯澤規子（2018年）『胃袋の近代：食と人びとの日常史』、名古屋大学出版会
- (3) 関連する学問領域：経済史、社会史
- (4) キーワード：近代化、労働者、都市、日常生活
- (5) 難易度： 
- (6) 日本の「近代」とはどのような時代であったのだろうか。「日々食べる」という営みを史実にもとづいて検討することで、人びとの体温と体臭が感じられる「日常史」が描き出される。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/経済学部/水野敦洋

- (1) 書籍のタイプ：b.特定分野に関わるもの
- (2) 書誌情報：桜井久勝（2018）『会計学入門（第5版）』中央経済社
- (3) 関連する学問領域：会計学
- (4) キーワード：会社の数字、利益の計算、財務諸表の作成・開示
- (5) 難易度： 
- (6) 簿記の知識がなくても、会社が公表する決算書（財務諸表）の数字の意味や、利益の計算方法の概要について理解することができるようになる。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/経済学部/井上善弘

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）
- (2) 書誌情報：Jon Yablonski 著、相島他3名訳（2021）『UXデザインの法則』オライリー・ジャパン
- (3) 関連する学問領域：マーケティング・心理学
- (4) キーワード：ユーザーエクスペリエンス、デザイン
- (5) 難易度： 
- (6) ユーザーエクスペリエンス（UX）の考え方を商品企画、プロダクトデザインへ取り入れる方法を、心理学の立場から事例を交えながらわかりやすく説明している。マーケティングをデザインと心理学の立場から学ぶ良い読み物である。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループC/創造工学部/平見尚隆

グループD（数学系/地球科学系/物理学系/化学系/生物学系/統計学系/情報科学系）

学問への扉 リーディングリスト

*各項目に含まれる内容

- (1) 書籍のタイプ：a.大学での学び入門（特定の分野に限定されていないもの）、b.特定の学問分野に関わるもの、c.「学問への扉」の特定の科目を受けるうえで参考文献、という3つのタイプがあります。
- (2) 基本的な書誌情報（著者、出版年、書名、出版社）著者名（出版年）『書名』出版社、という順番で書いています。
- (3) その本が関連する学問領域：複数ある場合は、関連度が高いものから書いています。
- (4) キーワード（5つまで）その本が関連するテーマなどを示すキーワードを書いています。
- (5) 本の難易度 1～3 まで：数が大きいほど難易度が高いです。難易度は推薦者の判断によって決めています。
- (6) 教員による本の紹介、おすすめの箇所についてのコメント：100字程度で、概要やおすすめのポイントについて書いています。
- (7) 推薦したグループ/所属/推薦者：所属する科目領域グループ（A～E）と所属と推薦者の氏名を書いています。

推薦図書が2冊以上ある場合、より学生に読んで欲しいものから順に記載しています。

- (1) 書籍のタイプ：一般
- (2) 書誌情報：地球生態学
- (3) 関連する学問領域：環境科学
- (4) キーワード：環境問題、生物圏、進化、酸素、物質循環、安定同位体
- (5) 難易度： 
- (6) 従来の学術分野に捉われず、広い視点から環境問題を考える上での新しい視座を提供しています。現在、絶版となっておりますが、図書館での貸し出しの他、古本を扱うネット書店で購入出来ます。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループD/農学部/山田佳裕

- (1) 書籍のタイプ：特定の科目
- (2) 書誌情報：数学ガールの秘密ノート 確率の冒険
著者：結城 浩，出版社：SBクリエイティブ，ISBN-10：481560603X
- (3) 関連する学問領域：数学
- (4) キーワード：確率
- (5) 難易度： 
- (6) 出版社の紹介に「中高生はもちろんのこと、大学生から社会人まで幅広く楽しめる本書」と書かれているように、わかりやすく対話形式で確率を説明しています。「命に関わる確率」では、条件付き確率の理解が必要な、病気の検査における偽陽性・偽陰性の問題もわかりやすく解説しています。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループD/創造工学部/三木信彦

- (1) 書籍のタイプ：特定の科目
- (2) 書誌情報：物理数学の直観的方法—理工系で学ぶ数学
著者：長沼伸一郎，出版社：講談社（ブルーバックス），ISBN-10：4062577380
- (3) 関連する学問領域：数学
- (4) キーワード：微分積分，行列，複素数，複素積分，応用解析等
- (5) 難易度： 
- (6) 高校や大学数学において初学者が必ず理解につまずく難解な数学的手法を，大胆なイメージ化により極めて分かりやすく説明。初版から20年以上，試験前に途方にくれる幾多の学生を救ったとされる名著です。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループD/創造工学部/三木信彦

- (1) 書籍のタイプ：「学問への扉」一般
- (2) 書誌情報：一生モノの物理学文系でもわかるビジネスに効く教養（単行本），鎌田 浩毅（著），米田 誠（著），2022，祥伝社，978-4396617417
- (3) 関連する学問領域：物理学領域
- (4) キーワード：物理学・テクノロジー
- (5) 難易度： 
- (6) 日常の中にある技術に活用されている物理の世界をわかりやすく説明。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループD/創造工学部/鶴町徳昭

- (1) 書籍のタイプ：「学問への扉」一般
- (2) 書誌情報：サイエンス入門1，リチャード・A. ムラー（著），Richard A. Muller（原名），二階堂 行彦（翻訳），2011，楽工社，978-4903063515
- (3) 関連する学問領域：物理学領域
- (4) キーワード：物理学・テクノロジー・エネルギー問題
- (5) 難易度： 
- (6) 科学初心者を対象とした講義なので，知識ゼロでも大丈夫。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループD/創造工学部/鶴町徳昭

- (1) 書籍のタイプ：「学問への扉」一般
- (2) 書誌情報：サイエンス入門2，リチャード・A. ムラー（著），Richard A. Muller（原名），二階堂 行彦（翻訳），2012，楽工社，978-4903063553
- (3) 関連する学問領域：物理学領域
- (4) キーワード：物理学・テクノロジー・エネルギー問題
- (5) 難易度： 
- (6) 科学初心者を対象とした講義なので，知識ゼロでも大丈夫。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループD/創造工学部/鶴町徳昭

- (1) 書籍のタイプ：前半「学問の扉」向け、後半は一般向け
- (2) 書誌情報：阿部真人、「データ分析に必須の知識・考え方 統計学入門」、ソシム株式会社、2021
- (3) 関連する学問領域：統計医学
- (4) キーワード：礎、データ分析、応用の分析法を説明
- (5) 難易度： 
- (6) 前半は、数式に頼らずに、統計学の考え方を説明しています。後半も同じく、数式を使わずに応用について解説しています。データなどの分析が必須となる今後前半のみの理解でも役に立つと思います。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループD/経済学部/横山佳充

- (1) 書籍のタイプ：b. 特定の学問分野に関わるもの
- (2) 書誌情報：佐藤健太郎（2013）『炭素文明論 「元素の王者」が歴史を動かす』、新潮社
- (3) 関連する学問領域：化学
- (4) キーワード：炭素、世界史、有機化学、芳香族化合物、エネルギー
- (5) 難易度： 
- (6) 農耕開始から世界大戦まで、人類は地上にわずか0.08%しか存在しない炭素をめくり、激しい争奪戦を繰り広げてきた。有機化学と世界史を結合させた良書。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループD/農学部/鈴木利貞

- (1) 書籍のタイプ：b. 特定の学問分野に関わるもの
- (2) 書誌情報：佐藤健太郎（2018）『世界史を変えた新素材』、新潮社
- (3) 関連する学問領域：化学
- (4) キーワード：材料化学、世界史、金属、無機化学、イノベーション
- (5) 難易度： 
- (6) 文明を動かしてきた12の新素材の物語を描く。材料科学と世界史を結合させた良書。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者：グループD/農学部/鈴木利貞

グループE「学問への扉」 リーディングリスト

*各項目に含まれる内容 (1) 書籍のタイプ / (2) 書誌情報(著者、出版年、書名、出版社、ISBN) / (3) その本が関連する学問領域 / (4) キーワード (5 つまで) : その本が関連するテーマ等 / (5) 難易度 : 1~3 まで (1 : 入門的なもの、2 または 3 : 発展的なもの (難易度によって区別してください)) / (6) 教員による本の紹介、おすすめ箇所についてコメント / (7) 推薦したグループ / 推薦者

- (1) 書籍のタイプ : 一般 (「越境する学問」で使用したことがある)
- (2) 書誌情報 : 著者 : 15 年戦争と日本の医学医療研究会 (編集)、出版年 : 2016 年、書名 : 戦争・731 と大学・医科大学 一統 医学者・医師たちの良心をかけた究明、出版社 : 文理閣、ISBN-10 : 4892597961
- (3) 関連する学問領域 : 医学
- (4) キーワード : 戦争、医学、医療倫理学、
- (5) 難易度 : 🌶️🌶️🌶️
- (6) 戦争時代は医療に対する倫理が損なわれた時代であると言える。その状況下において、特に九大生体解剖事件など、医療はどのような方向に向かったか知ってほしい。現在、遵守されている医療倫理の重要性を感じてほしい。
- (7) 推薦グループ/推薦者 : グループ E/医学部/横平政直

- (1) 【新】書籍のタイプ : a.大学での学び入門 (特定の分野に限定されていないもの)
- (2) 書誌情報 : 新井 紀子、2025、学力と人生を決めるもうひとつの読み方、東洋経済新報社、978-4492762677
- (3) 関連する学問領域 : 教育学、文学、教養教育
- (4) キーワード : 読解力、教養、AI、
- (5) 難易度 : 🌶️
- (6) Reading Skill Test (RST) 受検者 50 万人のデータを元に、読解力とはなにか、教科書が読めないのはなぜかを明らかにし、RST の成績向上に成功した事例を紹介しながら、真の読解力習得方法を示している書籍。
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者 : グループ E/医学部/芳我ちより

- (1) 【新】書籍のタイプ : c.「学問への扉」の特定の科目を受けるうえでの参考文献
- (2) 書誌情報 : 一般社団法人 日本健康教育学会、2019、健康行動理論による研究と実践、医学書院、978-4260036351
- (3) 関連する学問領域 : 公衆衛生学、医学、看護学
- (4) キーワード : 健康、行動理論、ヘルスプロモーション
- (5) 難易度 : 🌶️🌶️
- (6) 生活習慣・社会環境の改善の研究・実践に活用できる、健康教育・ヘルスプロモーションの理論・モデルを、日本国内の事例とともにコンパクトに紹介した書籍
- (7) 推薦グループ/所属/推薦者 : グループ E/医学部/芳我ちより

- (1) 書籍のタイプ： c. 「学問への扉」に属する特定の科目の参考文献
- (2) 書誌情報：ダン・ピュイトナー（著）荒川雅志（訳・監修）仙名紀（訳）、2022、The Blue Zones 2nd Edition 世界の100歳人に学ぶ健康と長寿9つのルール、祥伝社、ISBN：9784396617974
- (3) 関連する学問領域：慢性期看護学
- (4) キーワード：長寿、生活スタイル、コミュニティ
- (5) 難易度： 
- (6) 世界中の長寿地域を調査し、地域に根付く健康的な生活習慣と人とのつながりが、健やかによく生きるためにどのように関わっているか考えさせられる一冊。
- (7) 推薦グループ、または推薦者：グループE/医学部/西村亜希子

- (1) 書籍のタイプ： b. 特定の学問分野に関わるもの
- (2) 書誌情報：松本千明、2024、医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 第2版 生活習慣病を中心に、医歯薬出版株式会社、ISBN：9784263710685
- (3) 関連する学問領域：慢性期看護学
- (4) キーワード：健康行動、行動変容、理論
- (5) 難易度： 
- (6) 健康にいい食事や運動、生活は分かっているがなかなか実行できない。人が健康行動をとるようになるための条件や、支援のポイントについて理論の基本的な考え方を学べる。
- (7) 推薦グループ、または推薦者：グループE/医学部/西村亜希子

- (1) 書籍のタイプ： b. 特定の学問分野に関わるもの
- (2) 書誌情報：梅内 拓生【監修】/Basch, Paul F.【著】/PHC開発研究会【編】 2001 バッシュ国際保健学講座 ISBN：9784840728041
- (3) 関連する学問領域：国際保健学
- (4) キーワード：国際保健 世界 健康 医療
- (5) 難易度： 
- (6) スタンフォード大学・Paul F. Basch 名誉教授の執筆「Textbook of International Health 2nd Ed.」を、元東京大学大学院国際保健計画学・梅内拓生教授グループが完全翻訳した書籍。国際保健学について概観できる。
- (7) 推薦グループ、または推薦者：グループE/医学部/川田 紀美子

- (1) 書籍のタイプ：c. 「学問への扉」に属する特定の科目の参考文献
- (2) 書誌情報：浅枝 敏行著 2015 日本人ビジネスマン、アフリカで蚊帳を売る一なぜ、日本企業の防虫蚊帳がケニアでトップシェアをとれたのか？ 東洋経済新報社 ASIN: B012685ALC
- (3) 関連する学問領域：国際保健学
- (4) キーワード：国際保健 世界市場 マラリア
- (5) 難易度： 
- (6) 1990 年代に開発された防虫蚊帳を販売する日本企業がアフリカ進出し、ビジネスとして成功するストーリー。人の健康を守るためには医療以外の取り込みも重要であることが理解できる。
- (7) 推薦グループ、または推薦者：グループ E/医学部/川田 紀美子

- (1) Web c. 「学問への扉」に属する特定の科目の参考文献
- (2) JICA 独立法人国際協力機構／事業について／JICA グローバル・アジェンダ／保健医療
<https://www.jica.go.jp/activities/issues/health/index.html>
- (3) 関連する学問領域：国際保健学 母子保健学
- (4) キーワード：国際保健 国際協力 SDGs
- (5) 難易度： 
- (6) JICA は世界の 150 以上の国と地域で年間 1 兆円を超える規模の事業を展開している日本の国際協力機関であり、保健医療に関する事業について理解できる。
- (7) 推薦グループ、または推薦者：グループ E/医学部/川田 紀美子